

昨年生まれた子どもたちと過ごす
アムールトラの母親カサンドラ

あきた 市議会だより

No.178

令和2年
5月1日

秋田市議会ではLINEによる情報発信をしています。
LINEの「友だち追加」から「ID検索 (@akitacity_gikai)」
または「QRコード」で登録できます。



- 1月臨時会・2月定例会の概要 …… P2～4
- 1月臨時会・2月定例会の議決結果 … P5～7
- 代表質問／一般質問 …………… P8～11
- 常任委員会等の審査から …………… P12～13
- 「イージス・アショアの新屋演習場への
配備計画撤回に関する決議」を可決 …… P14
- 6月定例会のお知らせ（予定） …… P14

3月20日に通常開園した大森山動物園の
まんまタイムの様子

手洗いや咳エチケットなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しましょう

1月

臨時会・

1月23日

2月

定例会の概要

2月18日～3月19日

1月臨時会では、副市長の選任について同意を求める件を同意しました。

2月定例会では、令和2年度一般会計予算などの予算案17件、秋田市中心卸売市場業務条例の一部を改正する件などの条例案20件、単行案9件および令和元年度等の補正予算案15件をすべて可決しました。また、人事案6件に同意し、議員提案による決議案1件、条例案1件、意見書案2件を可決しました。

令和2年度当初予算

全会計合計 2,452億1,791万4千円

対前年度増減率

一般会計	1,396億円	3.8%
特別会計	727億4,684万5千円	4.4%
企業会計	328億7,106万9千円	0.5%

一般会計予算 1,396億円の内訳



民生費
約527億円



総務費
約184億円



土木費
約153億円



公債費
約135億円



教育費
約117億円



衛生費
約92億円



商工費
約87億円

その他

- 消防費 約40億円
- 農林水産業費 約33億円
- 災害復旧費 約15億円
- 議会費 約7億円など

予算

あきた芸術劇場整備事業

あきた芸術劇場の本体工事を継続します。また、附属駐車場の建設に向け、秋田和洋女子高等学校の建物移転補償および土地取得手続きを契約に基づき完了させます。

37億8千330万7千円

行政手続案内システム運用経費

本庁舎の繁忙期における窓口の混雑解消および来庁者の利便性向上を図るため、手続案内機能や申請書作成支援機能を有する行政手続案内システムを運用します。

437万4千円

総合窓口支援システム等構築事業

汎用機のオープン化に合わせて総合窓口支援システムを更新することに伴い、繁忙期の待ち時間の短縮につながるため、RPAを活用し届出書等の処理時間の短縮を図る新システムを構築、運用することにより、来庁者へのさらなるサービスの向上を図ります。

2千685万1千円

移住促進事業

移住希望者および新卒者等への情報発信、支援制度の充実、移住相談ツアールの実施ならびに首都圏等における移住相談体制の強化などを通じて、本市への移住を促進します。

9千499万8千円



JR東京駅近くにある秋田市移住相談八重洲センター窓口での相談の様子

シニア元気アップ事業（フレイル予防事業）

高齢者の身体的・心理的・社会的な虚弱の状態（フレイル）を予防するため、東京大学高齢社会総合研究機構が開発したフレイルチェックを行う市民サポートセンターを養成し、地域の通いの場などにおいてフレイルチェックを実施します。

361万9千円



※掲載事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送る場合があります。

結婚新生活支援事業

経済的理由で結婚に踏み出せない方を支援するため、要件を満たす新婚世帯に対し住宅購入費や家賃、引っ越し費用の一部を補助します。

613万2千円



幼稚園副食費補足給付事業

新制度未移行幼稚園を利用する子どものうち、年収360万円未満相当の世帯の子どもおよび年収にかかわらず第3子以降の子どもを対象に副食費を補助します。

1千96万2千円

子ども福祉医療費給付事業

子育て世帯の経済的負担の軽減と子どもを生き育てやすい環境づくりを進めるため、乳幼児・小中学生、ひとり親家庭の児童を対象に医療費の自己負担分を助成します。

令和2年8月から拡充

・小学生に係る所得制限基準額の引き上げ
(267万2千円→460万円)

・未就学児に係る所得制限の撤廃
7億5千191万5千円

佐竹史料館改築準備経費

老朽化が進んだ史料館の現地での改築を行うため、佐竹史料館改築検討委員会を設置します。

56万8千円

事業承継支援事業

事業主の高齢化や後継者不足に悩む市内の中小企業に対し、事業承継に必要な経費の一部を補助し、技術やサービス、雇用の喪失を防ぎ、本市経済の持続的発展を図ります。

560万円

スマート農業実証展示事業

収益性の高い複合型生産構造への転換を加速させ、周年型農業の普及促進を図るため、園芸振興センターでいちご栽培によるスマート農業の実証展示に取り組めます。

1千781万円



森林総合公園改修事業

森林浴、野外レクリエーション、自然体験学習の場として、多くの市民が気軽に森林と触れ合うことができる森林公園の再整備を実施し、利用者の利便性や安全確保を図ります。

・浜田森林総合公園 梅植栽50本
・大滝山自然公園 遊歩道改修
2千93万8千円



浜田森林総合公園

秋田商業高等学校創立100周年記念施設等整備事業

学校創立100周年を迎えるに当たり、記念事業として、屋外競技の冬期間および雨天時における練習場不足の解消を目的として、「(仮称)多目的アリーナ」を校舎西側の敷地内に建設することで、校内練習時の事故防止と教育環境の充実を図ります。

1億9千385万8千円

市立体育館ローカル5G基地局整備経費負担金

市立体育館を基地局として株式会社秋田ケーブルテレビが令和3年1月から運用を開始するローカル5Gに関し、スポーツ大会をはじめ各種イベント等において、AIカメラを活用した映像コンテンツの配信やイベント運営への利用などが可能となる機器の設置費用の一部を負担します。

500万円

交通系ICカード導入推進事業

公共交通利用者の利便性向上やバス事業者等による効果的な運行の実現を図るため、第2次秋田市公共交通政策ビジョンに基づき、令和3年4月の運用開始を目指して行う交通系ICカード導入に関し、バス事業者へ支援します。

3億2千729万6千円

高齢者コインバス交通系ICカード導入事業

バス事業者の交通系ICカード導入に併せ、高齢者コインバス事業にもICカードを導入するため、カード作成等に係る費用を事業者へ支援します。

2千244万2千円

追分駅バリアフリー化設備整備事業費補助金

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律による移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づき、鉄道事業者が実施する追分駅バリアフリー化設備整備事業(エレベーター等整備)に対し補助することにより、高齢者、障害者等の駅利用者の利便性向上を図ります。

860万円



J R 追分駅

泉・外旭川新駅(仮称)等整備事業

令和3年3月開業に向け新駅等の整備を行います。
・JR業務 駅施設(ホーム、待合所等)の工事、支障物移転
・本市業務 都市施設(接続道路、駅前広場等)の工事、道路占用物件移設等
7億7千962万4千円

古川流域治水対策事業

普通河川古川流域の浸水被害の軽減に向けて、国、県、市の3者が連携し、総合的な治水対策を実施します。

- ・排水機場設計
- ・地質調査
- ・用地調査

1億5千600万円



令和元年度補正 令和2年度補正

新型コロナウイルス感染症 対策事業

新型コロナウイルス感染症の相談窓口として設置しているコールセンターについて、令和2年度も業務を委託し、継続して窓口を設置するほか、医療機関からの疑似症患者に関する届け出等を受け、検体検査などを行います。

元年度債務負担行為設定

2年度補正額 2千970万円
3千600万円

条例

卸売市場法の 一部改正等に伴う改正

秋田市中央卸売市場 業務条例の一部を改正

中央卸売市場の卸売業者等の業務に関する規制を緩和するとともに、規定を整備するため、改正しました。
施行期日 2年6月21日から

秋田市公設地方卸売市場 業務条例の一部を改正

公設地方卸売市場の卸売業者等の業務に関する規制を緩和するとともに、規定を整備するため、改正しました。
施行期日 2年6月21日から



秋田市卸売市場

秋田市文化創造館条例を 設定

文化創造館を設置し、その管理を指定管理者に行わせるとともに、その利用料金等を定めるため、この条例を設定しました。

施行期日 規則で定める日から

議員提案による条例改正

秋田市議会委員会条例を一部改正

常任委員会等の会議を公開とするため、改正しました。施行期日は、令和2年4月1日からです。

これまで、常任委員会等の傍聴は、委員長の許可制であったため、傍聴申請書に住所・氏名を記載する必要がありましたが、これからは、申請書への記入は不要となり、傍聴券の交付を受けた先着20人の方が傍聴できます。

令和2年度から、常任委員会等の傍聴手続が簡単になりました。



単行案

秋田市総合環境センター第2リサイクルプラザ火災復旧ほか工事請負契約を締結する件

工事場所 河辺豊成字虚空蔵大台滝1番地3

契約金額 13億1千527万円

契約先 日鉄エンジニアリング株式会社

工事概要 現状復旧工事、火災対策強化工事、大規模改修工事

工期 2年12月25日まで

人事

1月臨時会

副市長 鎌田 潔氏（再任）

2月定例会

教育委員会教育長 佐藤 孝哉氏（再任）

教育委員会委員

石田 英憲氏（再任）

固定資産評価審査委員会委員

藤田 雅彦氏（新任）

人権擁護委員

浅野 進氏（再任）

熊谷 鉄美氏（再任）

阿部 英子氏（新任）



議案について

議案は、議会の議決を求めるために議長に提出する案件です。

議案には、条例案、予算案のほか、単行案、人事案などがあります。

また、議案は市長提出のほか、議員からも提出することがありますが、予算に関する議案を議員から発案することはできません。

1 月臨時会の議決結果

◇全員一致で同意した議案

件 名		
市長提出	人事案	秋田市副市長の選任について同意を求める件

2 月定例会の議決結果

◇全員一致で可決・同意した議案

全員一致で可決・同意した議案は件名のみを掲載しています。

件 名		
市長提出	令和元年度補正予算案（先議分）	令和元年度秋田市一般会計補正予算（第5号）の件
		令和元年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第3号）の件
		令和元年度秋田市市有林会計補正予算（第1号）の件
		令和元年度秋田市市営墓地会計補正予算（第2号）の件
		令和元年度秋田市大森山動物園会計補正予算（第2号）の件
		令和元年度秋田市病院事業債管理会計補正予算（第1号）の件
		令和元年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第2号）の件
		令和元年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第3号）の件
		令和元年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）の件
		令和元年度秋田市水道事業会計補正予算（第2号）の件
		令和元年度秋田市下水道事業会計補正予算（第2号）の件
		令和元年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）の件
	令和元年度補正予算案	令和元年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第4号）の件
	令和2年度当初予算案	令和2年度秋田市土地区画整理会計予算の件
		令和2年度秋田市市有林会計予算の件
		令和2年度秋田市市営墓地会計予算の件
		令和2年度秋田市中央卸売市場会計予算の件
		令和2年度秋田市公設地方卸売市場会計予算の件
		令和2年度秋田市大森山動物園会計予算の件
		令和2年度秋田市廃棄物発電会計予算の件
		令和2年度秋田市病院事業債管理会計予算の件
		令和2年度秋田市学校給食費会計予算の件
		令和2年度秋田市国民健康保険事業会計予算の件
		令和2年度秋田市母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計予算の件
		令和2年度秋田市介護保険事業会計予算の件
		令和2年度秋田市後期高齢者医療事業会計予算の件
		令和2年度秋田市水道事業会計予算の件
		令和2年度秋田市下水道事業会計予算の件
		令和2年度秋田市農業集落排水事業会計予算の件
	令和2年度補正予算案	令和2年度秋田市一般会計補正予算（第1号）の件
	条例案	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件
		教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件および職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する件
		秋田市印鑑条例の一部を改正する件

件 名		
市長提出	条例案	秋田市介護保険条例の一部を改正する件
		秋田市手数料条例の一部を改正する件
		秋田市旅館業法施行条例および秋田市公衆浴場法施行条例の一部を改正する件
		秋田市動物愛護管理担当職員に関する条例を設定する件
		秋田市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件
		秋田市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する件
		秋田市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する件
		秋田市商工業振興条例の一部を改正する件
		秋田市中央卸売市場業務条例の一部を改正する件
		秋田市公設地方卸売市場業務条例の一部を改正する件
		秋田市道路占用等に関する条例の一部を改正する件
		秋田市低炭素建築物新築等計画認定等手数料条例および秋田市建築物エネルギー消費性能適合性判定等手数料条例の一部を改正する件
		秋田市営住宅条例の一部を改正する件
		秋田都市計画事業秋田駅東第三地区土地区画整理事業施行条例および秋田都市計画事業秋田駅西北地区土地区画整理事業施行条例の一部を改正する件
		秋田市水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する件
		秋田市農業集落排水施設条例の一部を改正する件
	単行案	公立大学法人秋田公立美術大学定款の一部を変更する件
		包括外部監査契約を締結する件
		秋田市東部市民サービスセンターの指定管理者を指定する件
		秋田市檜山地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件
		秋田市茨島地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件
		秋田市仁井田地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件
		市道路線を認定する件
		奥羽本線秋田・土崎間302km630m付近こ道橋新設工事の施行に関する協定を締結する件
		秋田市総合環境センター第2リサイクルプラザ火災復旧ほか工事請負契約を締結する件
	人事案	秋田市教育委員会教育長の任命について同意を求める件
		秋田市教育委員会委員の任命について同意を求める件
		秋田市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件
		人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件（3件）
	議員提出	秋田市議会委員会条例の一部を改正する件
		中高年の引きこもりに対する実効性ある支援と対策に関する意見書提出の件
		難聴者の補聴器購入に対する国の支援に関する意見書提出の件

←6ページに続きます

◇賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等は各議員の表決状況を掲載しています。

件 名		議決結果	秋水会												市民クラブ				フロンティア			公明党			共産党			そうせい		議長					
			荻原貴幸	工藤知彦	細川信二	安井正浩	川口雅丈	佐藤宏一	伊藤藤一	伊藤巧一	熊谷重隆	菅原琢哉	渡辺正宏	小野寺誠	小木田喜美雄	赤坂光一	安井誠悦	藤枝隆博	見上万里子	工藤新一	花田清美	後藤良	船橋純	藤田信浩	倉田芳浩	小林一夫	牧野守	武田正子	石塚秀博		成沢淳子	奈良順子	佐藤久知	鈴木純子	佐藤純文
市長提出	令和2年度秋田市一般会計予算の件	可 決	○												○				○			○			×			○		議					
	秋田市文化創造館条例を設定する件	可 決	○												○				○			○			×			○		議					
	令和元年度秋田市一般会計補正予算（第6号）の件	可 決	○												○				○			○			×			○		議					
議員提出	イージス・アショアの新屋演習場への配備計画撤回に関する決議の件	可 決	○												×	○	○	○	○	○			○			○			○		議				
	保育所職員の配置基準の改善に関する意見書提出の件	否 決	×												○				○			×			○			○		議					
請願	住民の安全を脅かす陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）配備計画反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）配備計画反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	秋田市新屋勝平地区への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）配備計画反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	陸上自衛隊新屋演習場への陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）配備計画反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画の撤回に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画の撤回に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画の撤回に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画の撤回に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画の撤回に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画の撤回に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画の撤回に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画の撤回に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画の撤回に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○			○			○			○		議			

◇賛否が分かれた陳情

賛否が分かれた陳情は各議員の表決状況を掲載しています。

件 名		議決結果	秋水会												市民クラブ				フロンティア			公明党		共産党			そうせい			議長								
			荻原貴幸	工藤彦二	細川信二	安井浩丈	川口正浩	佐藤宏悦	伊藤榮一	伊藤巧一	熊谷重隆	菅原琢哉	渡辺正宏	小野寺誠	小木田喜美雄	赤坂光一	安井誠悦	藤枝隆博	見上万里子	工藤新一	花田清美	後藤良	船木純信	藤田浩夫	倉田芳一	小林一夫	牧野正守	武田秀博	石塚淳子		成沢順子	奈良久知	佐藤純子	佐藤伸文	武内健勝	小松政良	齊藤政良	岩谷勝良
陳情	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備は認めないことに関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○		○					○										議	
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○		○					○										議	
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備は認められないことに関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○		○					○										議	
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○		○					○										議	
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の新屋勝平地区への配備反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○		○					○										議	
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の配備反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○		○					○										議	
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の新屋勝平地区への配備反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○		○					○										議	
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○		○					○										議	
	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の配備反対に関する決議について	採 択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○		○					○											議
	福祉医療制度の適用者の拡大について	不採択																				○						×										議
在日米軍駐留経費の増額反対に関する決議について	不採択																					○					×								×		議	
最低賃金の改善と全国一律最低賃金制度の創設等に関する意見書の提出について	不採択																					○					×								×		議	
秋田県内の公立学校に1年単位の変形労働時間制を導入する条例の制定反対に関する意見書の提出について	不採択																					○					×										議	
給食副食費助成の実施と保育士の処遇改善について	不採択																					○					×								×		議	
保育所職員の配置基準の改善に関する意見書の提出について	不採択																					○					×										議	
あきた芸術劇場中ホールへの反響板の常設について ※○は趣旨採択	不採択																						○				×							○	×	×	議	

★賛否は、賛成（○）と反対（×）で掲載しています。

○：賛成【可決・承認・認定・同意・採択、趣旨採択】、×：反対【否決・不承認・不認定・不同意・不採択】、議：議長

★略記している会派の名称

「フロンティア」はフロンティア秋田、「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

各議員の表決状況は市議会ホームページでも公開しています。

※「イージス・アショアの新屋演習場への配備計画撤回に関する決議」については、14ページに掲載しています。

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。

- 中高年の引きこもりに対する実効性ある支援と対策に関する意見書
- 難聴者の補聴器購入に対する国の支援に関する意見書

□ 請願・陳情の提出について □

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話 018（888）5784

代表質問

秋水会
渡辺正宏

◇組織・人事◇小中学校の学習環境の整備◇公共施設の利用料金◇中心市街地のまちづくり◇公共施設等のマネジメント◇内部統制◇財源の確保◇新型コロナウイルス感染症対策

公共施設等のマネジメント

問 個別施設ごとの長寿命化計画は、総量の縮減という観点を含めて公共建築物のマネジメントを進めるとした場合、一つの部門で一元管理した方が実効性があるのではありませんか。また、総量における新設施設と既存施設とのバランスを今後どのように取っていくのですか。

答 公共建築物の統廃合の可否を一つの部門が集中的に担うことは、効率的に総量を削減できるという点でメリットがあると考えるものの、個別の施設は、事業の推進等に密接にかかわることから、各部署でその存廃について検討しているところとです。また、総量については、これまでも行政目

的を終えた施設の解体や売却などに取り組んでおり、今後もサービスレベルを下下することなく、施設保有量の削減に取り組んでいきます。

公共施設の利用料金

問 施設によって異なる料金体系とした背景にはどのような理由があるのですか。また、市外の高校生以下への無料措置を見直すべきではありませんか。

答 本市では、施設の利用料金を設定する際、管理運営に必要な経費や施設の性質に応じた受益者負担割合を考慮して決定することを基本としています。各施設ごとの個別の事情や、近隣自治体の類似施設の状況等を勘案する必要があることから、これらを総合的に判断し、設定しているものです。また、高校生以下を無料化する取り組みは、次世代のスポーツ・文化の振興を図るために実施したものです。現在もこの考え方に変わりありませんが、市外の高校生以下の無料の見直しについて、今後検討していきます。

市民クラブ
花田清美

◇市長の政治姿勢◇行財政改革◇中心市街地の活性化◇交通政策◇水害対策◇全天候型複合施設の整備◇ジャイアントパンダの誘致等◇秋田市卸売市場の再整備◇医療及び福祉◇国民健康保険事業◇地域包括ケアシステム◇児童虐待◇新型コロナウイルス感染症への対策

特定健康診査

問 特定健康診査の受診率向上を図るため、どのような対策を行うのですか。

答 本市では、対象者全員へ受診券を送付し、広報あきたやテレビなどで啓発に努めています。また、未受診者に対しては、年2回、はがきによる受診勧奨も行ってきました。しかし、ここ数年は、受診率の伸び率が低調になっていることから、令和2年度は、AIを活用し、受診歴や健診結果、個人属性などの分析を行い、それぞれの健康意識に合わせた新たなはがきによる受診勧奨を実施し、受診率向上を図っていきます。

イー・ジェス・アショア

問 市長は、新屋勝平地区へのイー・ジェス・アショアの配備について、地元の理解は得られないと河野防衛大臣に申し入れをしましたが、本市のリーダーとして自身の主義・主張に基づき、配備について判断するべきではありませんか。

答 申し入れの際、防衛大臣は、住宅地等との距離が非常に重要な考慮要素であり、本当の意味でのゼロベースでしっかりと検討すると明言されたほか、地元首長の理解が必須であるとの認識も示されたところであります。新屋演習場は、住宅地等との距離があまりにも近すぎるため、市民の安全を確保することはできず、配備候補地になることについて、地元の理解は得られないという私の思いは、防衛大臣に十分伝わったものと受け止めており、新屋演習場は候補地から当然除外されるものと考えています。



行政情報アプリ「マチイロ」について

スマートフォンやタブレット端末用の広報紙閲覧アプリ「マチイロ」であきた市議会だよりを配信しています。

専用アプリをダウンロードしてご利用ください。

※マチイロ公式サイト <http://machihiro.town/>



アプリダウンロード
QRコード

代表質問

市政全般にわたり、会派を代表して6人の議員が質問しました。

フロンティア秋田
倉田芳浩

◇市長の政治姿勢◇イージス・アショア◇保存樹◇秋田市文化創造館(旧県立美術館)の改修工事◇新スタジアム等◇あきた芸術劇場中ホールへの音響反射板の設置◇秋田和洋女子高等学校の移転補償費の精算◇秋田市本庁舎の消防法違反問題◇日本製紙株式会社秋田工場と本市の協定◇斎場使用料の見直し◇会計年度任用職員◇職員の勤務環境

保存樹

問 通称、油田の一本松の管理はどのように行っていたのですか。また、町内会等を交えて、小さな若木を植え、大事に育てる方策を検討してはどうですか。

答 これまで、状況に応じた剪定や松食い虫による被害を防ぐため薬剤注入を行ってきましたが、3年程前に樹木医から、すす葉枯れ病と診断を受け、樹勢の回復を図るため、施肥や剪定等をしてきたものの、回復が見込めない状況です。今後、枯死した場合は、周辺の安全確保のため伐採す

ることとしており、その後のあり方については、地元の皆様と相談し、さまざまな方策を検討していきます。

職員の勤務環境

問 職員のパワーハラスメント等の状況と、その原因をどのように分析していますか。また、これまでのハラスメント防止の取り組みの評価と今後の防止策をどのように考えていますか。

答 令和元年度は、ハラスメントに関連する相談を9件受けており、内容は職場内での大声の指導や叱責などでした。発生原因は、ハラスメントに対する意識や理解の不足等ととらえており、これらへの対応が必要と認識しています。これまでもハラスメント防止を目的に、管理職研修の実施等に取り組み、一定程度の効果が見られしていると考えていますが、今後も、ハラスメントの内容や発生原因・背景を周知・啓発しながら、風通しの良い職場環境づくりに努めていきます。

公明党秋田市議会
武田正子

◇市長の政治姿勢◇幼児教育・保育の無償化◇子育て支援アプリの導入◇児童虐待防止策◇不登校の児童生徒への支援策◇8050問題◇介護支援ボランティア制度◇秋田市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例◇安全・安心なまちづくり◇プラごみゼロ宣言

不登校児童等への支援策

問 文部科学省から、令和元年10月25日付の不登校児童生徒への支援のあり方についての通知を受けて、本市の支援の方向性は以前と比較してどのように変わるのですか。また、その趣旨を教職員に理解してもらうためにどのような研修を考えていますか。

答 本市では、これまでも同通知に示された方針と同様の考えの下、一人一人の状況に応じた個別の支援計画の作成や居場所としての相談室等の整備、子どもの話し相手となるフレッシュアップの派遣、適応指導教室すくうる・みらいの運

営等に取り組んでおり、今後子どもたちの自立支援に係る施策の充実に努めます。また、教職員研修を通して同通知の趣旨につき、さらに周知を図ります。

安全・安心なまちづくり

問 災害に強いまちづくりの実現に向け、地域の防災教育の充実と地域防災の担い手育成の現状はどうですか。また、今後どのように取り組んでいくのですか。

答 本市では、各町内会等に職員を派遣し、防災訓練の指導や防災講話等を行うとともに、秋田市自主防災組織連絡協議会での研修会や市内全域の町内会長等を対象として、自主防災リーダー研修会を開催するなど、地域の防災教育の充実や担い手育成に努めています。今後も、これらの取り組みを継続するとともに、特に若い世代の育成を対象とした研修内容等のさらなる充実を図り、災害に強いまちづくりの実現を目指します。



■本会議の傍聴について

本会議は、ケーブルテレビで生中継、インターネットで生中継および録画配信しています。傍聴されている方も映る場合がありますのであらかじめご了承ください。

また、議場には、磁気ループシステムを設置しています。補聴器をお使いの場合は“T”モードに切り換えてください。専用受信機も用意していますので、希望される方は傍聴受付にお申し出ください。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

代表質問

日本共産党秋田市議会議員団
鈴木 木 知

◇イージス・アショア◇行財政運営◇まちづくり◇教育◇要介護認定◇文化振興

要介護認定

問 要介護認定の申請から30日以内に認定されていない実態がありますが、状況と対策はどのようなになっていますか。

答 本市における平成30年度の要介護認定に要する平均日数は35日となっていました。令和元年度は前年度に比べて申請数が1カ月当たり約300件増加しているため、認定調査までに日数を要し、認定までの平均日数は約47日となっています。このため、元年10月に調査員を1名増員したほか、2年3月中にさらに1名増員する予定です。2年度以降も、必要に応じて調査員を増員し、認定調査日数の短縮化に鋭意努めていきます。



登下校時の安全・安心

問 子ども110番の家は、現在どのような取り扱いになっていますか。また、不審者への対応を児童に徹底するとともに、万が一のときに一目で駆け込み先が分かるような手だてを講じるべきではありませんか。

答 子ども110番の家は、平成6年、岐阜県における児童殺害事件をきっかけに全国へ広まりましたが、その後20年以上経過し、登録者の高齢化などの課題が生じているため、令和元年度から、県と県警の主導の下、郵便局などの協力を得ながら再構築に取り組んでいます。また、各校でも警察と連携した防犯教室などを通じて、不審者に遭遇した際の対処として、大声を出す、近くの安全な場所に逃げるなど、危険を回避するための具体的な行動を指導しています。子どもの緊急避難先の表示などは、警察、防犯協会、PTA等の関係機関で構成される秋田市児童生徒の防犯に関する連絡協議会で協議してまいります。

そうせい

齋藤 勝

◇市長の政治姿勢◇令和2年度当初予算及び今後の財政運営◇人口減少対策◇イージス・アショアの配備◇新型コロナウイルス感染症への対応等◇ふるさと納税の積極的な活用◇外旭川地区のまちづくり◇企業誘致◇文化会館の今後の活用等

市長の政治姿勢

問 市長は、3期目3年間の評価と公約の実現状況について、どのように総括していますか。また、その総括を踏まえて、任期の最終年度の市政運営にどのように取り組むのですか。

答 平成30年度末時点の公約の進捗状況は、秋田市中小企業振興基本条例の制定、第2子に加え、第1子保育料無償化制度の創設、高齢者コインバスの対象年齢引き下げ、コンビニでの各種証明書の交付等、5つの項目に関連する7つのプランで達成済みです。また、地域おこし協力隊の活用と移住・定住対策のさらなる推進をはじめとする多くの



建設中の泉外旭川駅

プランで、これまでの取り組みが一定の成果として表れており、全体として順調に進捗していると考えています。公約の実現に向け、引き続き最重要課題である人口減少対策と本市の将来を見据えた成長戦略等を一層推進してまいります。

外旭川地区のまちづくり

問 市長は、外旭川地区のまちづくりのあり方を検討すると表明しましたが、具体的な位置や規模をどのように考えていますか。また、その中にはイオンタウン株式会社が開発を計画しているエリアが含まれていますか。

答 外旭川地区のまちづくりに関しては、泉外旭川駅や卸売市場、さらには都市計画道路泉外旭川線の整備などを見据え、次期総合計画や次期総合都市計画の中で検討してまいります。

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

6月定例会の本会議は、6月4日、15日、16日、17日、26日に開催予定です。

一般質問

市政全般にわたり、2人の議員が質問しました。

秋水会
赤坂光一

◇人口問題◇まちづくり◇若者等の意見を市政に取り込む仕組みづくり◇公共交通◇災害時の対応

ため池の災害対策

問 本市のため池の安全性の調査・補強は行われているのですか。また、ため池が決壊した場合の対応を地域住民に情報提供するべきではありませんか。

答 市内の農業用ため池354カ所のうち146カ所が、決壊した場合に人家等に影響を及ぼす恐れがある防災重点ため池とされました。ため池の安全性は、各施設管理者が点検・検証する必要があるますが、今後、県や土地改良区等と連携して現状把握と安全対策に努めるとともに、管理者が不明の場合には必要に応じて市が調査・対策等を行っていきます。また、令和2年度は防災重点ため池のハザードマップの作成とともに、地域を含めた緊急時連絡体制を整備する中で、決壊に備えた効果的な情報提供のあり方を検討していきます。



猿田沢ため池

若者等の意見の施策反映

問 次期秋田市総合計画等において、若者および女性の意見をどのような手法で集約し、どのように施策へ反映するのですか。

答 次期総合計画等の策定に当たっては、次代を担う35歳未満の若手職員と新たな視点での意見が期待される県外出身職員による、新たな事業アイデアなどを検討する場を設けるほか、外部の有識者による懇話会の委員には、若い世代や女性にも就任いただけるよう、意を用いるなど、多様な意見を聞いた上で、施策の方向性等を示していきたいと考えています。

市民クラブ
安井誠悦

◇イージス・アショア◇一般廃棄物収集運搬業◇新スタジアムの整備

イージス・アショア

問 イージス・アショアの本市への配備は、秋田が日本の国益に最大限貢献するチャンスととらえる考えはありませんか。また、交付金等について、国の考えを提示させるべきではありませんか。

答 新屋演習場は、住宅地等との距離があまりにも近すぎるため、市民の安全を確保することはできず、配備候補地になることについて、地元の理解は得られず、常識的には候補地から当然除外されるものと考えています。また、配備に伴う交付金等についても、現時点では、検討する状況にはないものと考えています。



新スタジアムの整備

問 新スタジアムの整備に、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用することはできませんか。

答 企業版ふるさと納税制度の活用にあたっては、国の認定を受けるなど一定の手続きが必要ですが、財政負担の軽減や官民一体となったスタジアム整備の機運醸成などの効果も期待でき、今後、資金調達手法の一つとして、スポンサー企業とのつながりもあるブラウブリッツ秋田の意向なども踏まえながら検討していきます。



ソユースタジアム（八橋陸上競技場）

議会の動き

2月13日 各派会長会議
議会運営委員会
18日 2月定例会
(3月19日まで)

4月3日 編集委員会



常任委員会および予算決算委員会各分科会（令和元年度補正予算）の審査から

総務委員会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員

秋田市文化創造館において、にぎわいの創出は重要な目的と考えますが、単独の事業展開だけではなく、周辺施設も含めた芸術文化ゾーン全体の取り組みを行うべきではありませんか。

企画財政部

同館は、今後、芸術文化ゾーンにおいて重要な役割を担う施設と考えていることから、まちづくりの考え方を市が指定管理者に明示して事業展開を促すとともに、周辺施設との連携については、民間事業者を含め芸術文化ゾーン活用研究会が立ち上げられ、この中でゾーンのあり方を検討しているところですので、今後、同館の指定管理者にも同研究会に参加してもらい、ゾーンの全体的な方向性といった視点でも事業展開を検討してもらいたいと考えています。

厚生委員会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員

市民サービスセンターやコミュニティセンターの指定管理者に対する評価はどのように行っていますか。また、今回更新となる各指定管理者の評価結果はどのようになっていますか。

市民生活部

指定管理者の評価については、指定管理者制度運用基本指針により評価方法が定められており、市民の平等な利用の確保、施設の設置目的の効果的な達成や効率的な管理等について、毎年評価を行っています。これに基づき、今回更新することとしている東部市民サービスセンター、檜山地区および茨島地区コミュニティセンターの各指定管理者についても評価を行った結果、いずれも適正な管理が行われていることからA評価としており、令和元年9月に市のホームページに掲載し公表しています。

予算決算委員会 教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員

秋田港大型クルーズ船誘致等事業は、どのような理由で減額補正をしたのですか。また、債務負担行為を設定していますが、現時点において、昨今の新型コロナウイルス感染症による影響はないのですか。

観光文化スポーツ部

令和元年度当初予算では、23回のクルーズ船受け入れ業務を予定していましたが、その後、寄港回数が2回減少することが判明したため、実施回数を21回として委託業務を発注したことから不用額が発生し、今回減額補正を計上したものです。また、2年度に27回の受け入れ業務の実施を予定し債務負担行為を計上しましたが、新型コロナウイルス感染症などの影響により、現在は22回の予定となっています。今後、あらためて必要な経費を精査し、委託業務を発注したいと考えています。

予算決算委員会 建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員

太平山県立自然公園施設整備事業負担金は減額補正されていますが、その理由は何ですか。

建設部

本事業は、県が事業主体となって実施しているもので、令和元年度は橋の架け替え工事を予定していましたが、既存の橋台に問題があったため、事前調査で終了となったことに伴い、県が事業計画を変更したこと、市の負担金も減額しようとするものです。



架け替え工事を予定していた旭又登山道の橋



予算決算委員会各分科会の審査から（令和2年度当初予算について）

総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員

新型インフルエンザ感染防止資機材整備事業は、41万1千円の事業費で防護服などの資機材を十分にそろえることはできるのですか。また、この資機材により、今般の新型コロナウイルス感染症の対応は可能ですか。

消防本部

同事業は、平成20年に発生・流行した新型インフルエンザの感染防止のための資機材として、国から示された標準防護策に基づき整備するものです。が、一度に整備すると更新時期が重なることから、耐用年数を考慮した上で、おおよそ10年の単位で一定数を計画的に整備してきました。また、この資機材は、今般の新型コロナウイルス感染症の対応にも使用できることから、現有している資機材で救急態勢を整備しています。



感染症患者の救急搬送訓練の様子

厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員

子ども福祉医療費給付事業は、令和2年8月から対象を拡充しますが、未就学児に係る所得制限の撤廃と、小学生に係る所得制限基準額を46万円まで引き上げることにより、対象者はどの程度増えるの見込んでいますか。

子ども未来部

同事業における未就学児の所得制限の撤廃に伴い、対象者は約1千300人増えるの見込んでおり、これにより、未就学児は、他の医療費助成制度受給者を除く全員が対象になります。また、小学生に係る所得制限の引き上げにより、対象者は約4千800人増加すると見込んでおり、ひとり親家庭の受給者を含めると、小学生における対象者は8割を超えると考えています。



教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員

佐竹史料館は現地建て替えのため約4年間休館となりますが、収蔵品はどこに保管しますか。また、休館中はどのような事業を実施しますか。

観光文化スポーツ部

同史料館休館中の収蔵品の保管場所は、防火・耐震・防犯対策に加え、空調設備の設置が必須条件であることから、本庁舎6階の文書保管庫および上下水道局の八橋庁舎を活用することを考えています。また、休館中の事業は、佐竹氏等に関する学習講座などの教育普及事業を引き続き実施していくほか、ガラスケースなどによる展示が可能な会場で、収蔵品を紹介する出前展示の開催についても考えています。



佐竹史料館

建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員

既設市営住宅改修費は、令和2年度に旭南および高清水市営住宅の改修工事を行います。今後の改修に当たっては、入居者の高齢化が進んでいることから、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化を積極的に図っていくべきではありませんか。

都市整備部

市営住宅の計画的な改修、建て替えは、これまでも建物の耐用年数などを踏まえて計画的に実施してきましたが、令和2年度は次期秋田市営住宅等長寿命化計画を策定することとしており、同計画策定に当たっては、さまざまな調査を行うことから、バリアフリー化についても検討していきたいと考えています。



旭南市営住宅

～「イージス・アショアの新屋演習場への 配備計画撤回に関する決議」を可決～

令和2年3月6日の本会議に、議員提案により「イージス・アショアの新屋演習場への
配備計画撤回に関する決議の件」が上程され、賛成多数で可決しました。

イージス・アショアの新屋演習場への 配備計画撤回に関する決議

現在、防衛省では、イージス・アショアの配備候補地として、従前に示した青森県、山形県及び秋
田県における国有地19カ所に関する再調査を、ゼロベースを基本として実施している。しかし、1
月31日に行われた防衛大臣との会談における知事や市長の発言内容、4万人以上の県民・市民から
寄せられた反対署名など、新屋演習場へのイージス・アショアの配備を取り巻く現状は変化している。

我が国において、ミサイル配備を伴う防衛施設を整備するのであれば、周辺環境に対して物理的
にも論理的にも十分な安全保障を確立しなければならない。しかし、今般の新屋演習場への配備に関し、
住民の最大の不安は住宅地等があまりにも近接しすぎていることであり、この点については、いかに
物理的かつ論理的な説明をもってしても不安を払拭するには至らないと考える。

防衛省は、住民の理解を得ることを第一義としているが、取り巻く状況は、その実現を見通せない
ことから、同演習場への配備計画は撤回するよう強く要請する。

以上、決議する。

令和2年3月6日

秋田市議会



本会議場での提案説明の様子



表決の様子

※「決議」とは…議会としての意思を表明することで、儀礼的な事項などさまざまなものがあります。

6月定例会のお知らせ(予定)

◆日程

6月4日	本会議
15日～17日	本会議「一般質問」
18日～22日 (土日除く)	常任委員会・分科会
24日	常任委員会
26日	本会議

◆一般質問予定者

伊藤一榮、伊藤巧一、
菅原琢哉、渡辺正宏(秋水会)
見上万里子(市民クラブ)
後藤良(フロンティア秋田)
成沢淳子(公明党秋田市議会)
佐藤広久(日本共産党秋田市議会議員団)

次回のあきた市議会だよりは
令和2年8月7日
発行予定です。



※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。
日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

